

2018年度 JIMSA BMC 採点基準

内容 (30点)ー加点法ー

テーマのオリジナリティ (5点)

ユニークな視点で研究テーマが設定されているものを高く評価する。

アプローチのユニークさ (5点)

ありきたりな実験方法ではなく、ユニークな実験方法でアプローチしているものを高く評価する。

学術性 (5点)

実験や仮説が科学的に妥当で、優れているものを高く評価する。

臨床への応用 (5点)

考察が実験結果を臨床に結びつけるものであるかを評価する。

サマリー (5点)

研究内容が分かりやすく、適切な書き方で要約されているかを評価する。JIMSA から提示する書式に準じて作成することとする。

質疑応答 (5点)

参加者 (学生・ジャッジの先生方を含む) からの質問に的確に答えられているかを評価する。英語で質問されたものに関しては英語で、日本語で質問されたものに関しては日本語で応答することとする。

英語 (40点)ー加点法ー

文法 (10点)

伝えたいことが伝わる文法かどうかを評する。

話し方 (10点)

話す声の大きさ、速さ、明確さ、抑揚をつけた話し方、発音、イントネーションを評価する。

単語、言い回しの選択 (10点)

聞いている人 (医学生) に伝わる言い方、単語を使用しているか

原稿の暗記(10点)

Excellent(10-9), Good(8-6) Average(5-3), Poor(2-0) の4段階評価を基本とする。

プレゼンテーション(30点)ー①~③: 加点法 / ④: 減点法ー

分かりやすさ (10点)

プレゼンテーションを通して研究内容がいかにわかりやすく正確に発表されたかを評価する。

スライド (10点)

スライドの構成、見やすさ、口頭で話した内容の理解につながるものであるかを評価する。

態度・姿勢 (10点)

ジェスチャー、聴衆を見て話す、発表者として常識のある真摯な態度で臨んでいるか、などを意識して発表しているかを評価する。

その他学術発表に求められる内容（必須項目）… 最大 10 点減点

倫理的配慮：配慮に欠けたら 2 点減点。

表やグラフのタイトルやナンバリング、縦軸・横軸のタイトルや単位の表記、有意差の表記。

サマリーや power point への Reference などの記載など。基本的な配慮ができているかどうかを評価する。

発表時間の厳守：30 秒オーバー毎に 1 点減点。減点は最大 8 点までとする。